

田中豐藏 トナカトヨカズ 東洋美術史家。明治十四年十月、二日京都市生れ、昭和二十二年四月二十六日歿（二八二—一九四八）。號倉琅子、滄浪。東京帝國大學文科大學支那文學科卒。明治四十五年國華社に入り、雜誌『國華』に「南畫新論」を發表。昭和二年インド、歐米留學。翌年京城帝國大學教授。（二十一年文部省美術研究所所長、東京都美術館館長兼務。

著書 『中國及び西域の美術』（田中倉琅子名、川上涇・熊谷宣夫・吉川逸治合著、美術研究所談話會編、昭和二十二年一月）日大阪・白鳳書院「美術研究叢書」）、『東洋美術談叢』（昭和二十四年六月十五日朝日新聞社）、『日本美術の研究』（昭和二十五年刊）、『中國美術の研究』（昭和二十九年十一月、二十五年、一玄社）。

